

社会科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 期 間 令和3年〇月〇日(〇)～〇月〇日(〇)
2 場 所 第1学年〇組教室
3 学年・学級 第1学年〇組 34名
4 単 元 名 第2章 世界の諸地域
3節 アフリカ州, 5節 南アメリカ州

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、『中学校学習指導要領 社会』地理的分野の内容B「世界の様々な地域」の(2)「世界の諸地域」に位置付き、①アジア②ヨーロッパ③アフリカ④北アメリカ⑤南アメリカ⑥オセアニアの各州を取り上げる。その際、各州において空間的相互依存作用や地域などに着目しながら、主題を設けて課題を追求したり解決したりする活動を行う。その活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付ける単元である。

ア 知識

(7) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それらが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。

(4) 世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し、理解すること。

イ 思考力, 判断力, 表現力

(7) 世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

アフリカ州については、世界最大のサハラ砂漠などの自然環境や豊富に産出される鉱産資源、長く植民地支配が続いた歴史等を大観する学習を踏まえ、地球的課題である経済問題、特に、諸外国からの経済支援に関わる課題について、地域の人々の生活と関連付けて考えることが求められる小単元である。

南アメリカ州については、南北に長く、標高差も激しい地形や、古代文明や植民地支配の歴史、農業や工業の産業の発展等を大観する学習を踏まえ、地球的課題である森林伐採の問題、特に経済発展に関わる開発などの諸問題について、持続可能な観点から考えることが求められる小単元である。

アフリカ州や南アメリカ州にある豊富な資源は、各州にとって貴重であるだけでなく、全世界にとって、また将来の世界にとっても貴重な資源である。また、将来、全世界の人口の4分の1はアフリカ州の人々が占めるといわれ、世界におけるアフリカ州の存在は今後ますます大きくなることが予想される。そこで、アフリカ州・南アメリカ州の発展と開発をテーマに探究することで、自分たちの将来像を考えることができ、そして地球規模の問題解決を考えることができる小単元である。

(2) 生徒観

(略)

(3) 指導観

指導に当たっては、毎時間の課題追求を中心としながらも、「概念等に関わる知識」の獲得を目指し、以下に示す三つの工夫を取り入れる。

ア 学習過程を「科学的探求学習」で組み立てること

「科学的探求学習」とは、社会的事象について、「なぜそれは起こったか」「それはどうなるか」と問い、その回答を探求していく活動であり、学習過程は、「課題設定」→「仮説提示」→「仮説の吟味・検証」→「一般化、理論の定式化」となる。この「一般化・理論」が、社会的事象・出来事を見ていくときの枠組み、つまり「概念的知識」である。そこで、「なぜ、アフリカ州は発展が遅れているのか」や「南アメリカ州はどのようにして経済発展させているのか」等の課題を探求する「科学的探求学習」の学習過程を取り入れ、授業を行う。

また、各学習過程では、以下に留意して学習を展開する。

- ・ 「課題設定」では、「アフリカ州は鉱産資源が多いのにも関わらず、なぜ発展しないのか。」等、子供の思考を揺さぶる問いを投げかけ、課題意識を高める。
- ・ 「仮説提示」では、アジア州の経済発展等子供がもっている既存の理論をしっかりと表出させる。
- ・ 「仮説の吟味・検証」では、他者の考えを参考にしながら、多面的・多角的に仮説を吟味・検証するために、グループ学習を取り入れ、思考する時間を十分確保する。
- ・ 「一般化、理論の定式化」では、「仮説提示」の場面で表出させた既存の理論と、獲得した理論とを比較し、子供に自らの知識の深化を実感させる。

イ 「問いの構造図」から授業を構成すること

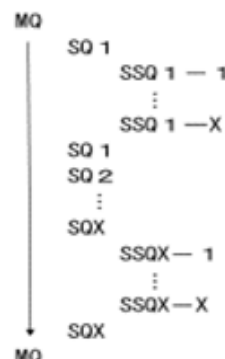
「問いの構造図」は、科学的に課題を解き明かすための問いのプロセスであり、中心発問と下位の問いから成る、授業構成の骨格となるものである。

- ・ 中心発問(MQ)：「なぜ」「どうして」という問い(=推論を求める問い)
- ・ 下位の問い(SQ)：中心発問に答えるために必要な問い
- ・ 下位の下位の問い(SSQ)：下位の問いに答えるために必要な問い

そこで、子供の思考に添った科学的探求を行うために、まず、「問いの構造図」を作成し、授業展開を考える。

具体的には、MQ「なぜ、アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのか」という中心発問に対し、SQ1「アフリカ州ではどのようなものをどのように生産しているのだろうか」、SSQ1-1「アフリカ州で生産される農産物には何があるか」、SSQ1-2「それらの農産物の特徴はなにか」、SSQ1-3「なぜアフリカ州では商品作物が栽培されるようになったのか」等の下位の問いで探求していく。このような流れを考えた上で、そこで得られる知識を付け加えて授業構成を考えていく。その際、3節のアフリカ州では、教師によって構造化した問いかけで中心発問を解き明かし、5節の南アメリカ州では、教師の問いかけを減らし、アフリカ州で学習した探求のプロセスを生かしながら、子供が自ら「問いの構造図」を作成できるように促す。

問いの構造図



ウ 「本質的な問い」を設定すること

「本質的な問い」とは、「時代を超えて、社会的事象を説明できるような『普遍的理論』(※1参照)を求める問い」、「はっきりとした答えはないオープンエンドな問いで、かつ主権者として、市民として、私たちが社会で生きていくために、考えていかなければならないような性質の問い」と定義されており、本単元の最初と最後に位置付けて考えさせる。

具体的には、「普遍的理論」として「これからの経済発展については、各国が自国優先ではない世界全体の視野と、目先の利益ではない将来の視点を入れた経済発展観に立つことが必要である」と設定し、アフリカ州と南アメリカ州で獲得したそれぞれの「概念的知識」を転移・活用できる「本質的な問い」として、「現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。」という具体的な問いと、一般化した「これからの経済発展はどのようにあるべきなのだろうか。」を考える。また、設定した「普遍的理論」を獲得するために、3節：アフリカ州・5節：南アメリカ州を連続した単元として再編成し、アフリカ州と南アメリカ州の双方の学習を活用して「普遍的理論」を考えることができるようにする。

※1 「概念的知識」は、右図のように三層の構造に分けて捉えることができる。

- ・ 「普遍的理論」：人間や社会一般に見られる傾向性、規則性
- ・ 「類型的理論」：同じ類型の事象・出来事に見られる傾向性、規則性
- ・ 「総合的理論」：特定の時所における事象に見られる傾向性

つまり、「概念的知識」の中でも、社会的事象等の特色や意味、理論などを含めた社会の中で汎用的に使うことのできる「概念的知識」にするためには、より上位の「普遍的理論」・「類型的理論」の層まで知識を高めることが求められる。

概念的知識の構造



以上三つの工夫により、毎時間の具体的知識の理解に留まらず、単元を通して社会で活用できる「概念等に関わる知識」を得る授業にしていきたい。

6 単元の目標

- ・ アフリカ州及び南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、アフリカ州及び南アメリカ州の地域的特色(自然、産業、文化、歴史等)を大観し、理解する。
- ・ アフリカ州及び南アメリカ州で顕在化している経済発展に係る地球的課題は、アフリカ州及び南アメリカ州の地域的特色(資源、経済、歴史等)の影響を受けていることを理解する。
- ・ アフリカ州及び南アメリカ州において、経済発展に係る地球的課題の要因や影響を、地域内外の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色(自然、産業、資源、経済、文化、歴史等)と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・ アフリカ州及び南アメリカ州を基に、よりよい社会の実現を視野に、これからの経済発展に係る課題を主体的に追求しようとする態度を養う。

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ州及び南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、アフリカ州及び南アメリカ州の地域的特色（自然，産業，文化，歴史等）を大観し，理解している。 ・ アフリカ州及び南アメリカ州で顕在化している経済発展に係る地球的課題は，アフリカ州及び南アメリカ州の地域的特色（資源，経済，歴史等）の影響を受けていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ州及び南アメリカ州において，経済発展に係る地球的課題の要因や影響を，地域内外の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色（自然，産業，資源，経済，文化，歴史等）と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ州及び南アメリカ州を基に，よりよい社会の実現を視野に，これからの経済発展に係る課題を主体的に追求しようとしている。

8 単元の「問いの構造図」

【獲得する普遍的理論】

これからの経済発展については，各国が自国優先ではない世界全体の視野と，目先の利益ではない将来の視点を入れた経済発展観に立つことが必要である。

本質的な問い

【具体】：現在，経済的に貧しい国々がこれから発展するためには，どのような道筋があるのだろうか。
 【一般化】：これからの経済発展はどのようにあるべきなのだろうか。 ⑦⑧

なぜアフリカ州の国々は貧しいのだろうか。
 なぜアフリカ州の発展は遅れているのだろうか。 ③

なぜ南アメリカ州は発展できたのだろうか。
 南アメリカ州の発展の問題点は何だろうか。 ⑤⑥

中心発問

アフリカ州はどのようなところなのだろうか。
 ↳アフリカ州の現状を知ろう ①

なぜ，アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのだろうか。
 ↳アフリカ州の経済の問題点を知ろう ②

なぜ，アフリカ州の発展は遅れているのだろうか。
 ↳アフリカ州の発展を妨げている様々な原因を考えよう ③

南アメリカ州はどのようなところなのだろうか。
 ↳南アメリカ州の現状を知ろう ④

南アメリカ州はどのようにして経済発展させているのだろうか。
 ↳南アメリカ州の経済発展について知ろう ⑤⑥

南アメリカ州の経済発展の問題点は何だろうか。
 ↳環境問題，持続可能性を視点に考えよう ⑤⑥

扱う社会的事象

・ 自然環境
 ・ 文化，歴史
 ・ 人口
 ①

・ モノカルチャー
 ・ 経済
 ・ 先進国との貿易
 ②

・ 民族問題
 ・ 人口問題
 ・ 公衆衛生
 ③

・ 自然環境
 ・ 産業，歴史
 ・ 人々の暮らし
 ④

・ ブラジルの発展
 ・ 開発による環境破壊
 ⑤⑥

※①：第1時
 ②：第2時
 ③：第3時
 ④：第4時
 ⑤：第5時
 ⑥：第6時
 ⑦：第7時
 ⑧：第8時

次	時	ねらい	学習活動	評価の観点			評価規準
				知	思	態	
第一次 アフリカ州	1	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通した課題を立て、今後の学習に見通しをもつ 	<p>【本質的な問い】 現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発展する」ことのイメージ（概念）を共有する。 「発展」に向けた“道筋”を考える。 「発展」＝「経済発展」と捉える。 			●	●【主体的に学習に取り組む態度】 前時のアジア州の「経済発展」をテーマとした学習を生かし、単元を貫く問いについて主体的に追求しようとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> アフリカ州の自然、歴史と文化、人口の特色について理解する。 アフリカ州の課題について、今後の学習に見通しをもつ。 	<p>【MQ1】 アフリカ州はどのようなところなのだろうか。 ～アフリカ州の現状を知ろう～</p> <ul style="list-style-type: none"> アフリカ州の自然、歴史、文化、人口の特色を雨温図、写真等の資料から考察する。 アフリカ州の課題の要因・背景について、自然、歴史等と関連させて、自身の考えをもつ。 	○		○	○【知識・技能】 アフリカ州の自然、歴史、文化、人口等の特色の大観を理解している。 ●【主体的に学習に取り組む態度】 アフリカ州の課題の要因・背景を予想し、その課題解決へ見通しをもって主体的に追求しようとしている。
		<p>なぜ、アフリカ州は貧しい国々が多いのか、予想しよう。</p>					
	2	<ul style="list-style-type: none"> アフリカ州のモノカルチャー経済の仕組みと問題点について理解する。 	<p>【MQ2】 なぜ、アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのだろうか。 ～アフリカ州の経済の問題点を知ろう～</p> <ul style="list-style-type: none"> アフリカ州の農業、鉱業の特色について分布図等の資料から考察する。 アフリカ州の国々の輸出品、国際市場価格等の資料から、モノカルチャー経済の仕組みとその問題点、先進国との貿易の特徴について理解する。 			●	●【知識・技能】 アフリカ州の農業、鉱業、貿易の特徴や問題点を、様々な資料を関連づけて読み取っている。 ○【思考・判断・表現】 アフリカ州のモノカルチャー経済の問題点を、様々な資料を関連付けて多面的・多角的に考察している。
	3	<ul style="list-style-type: none"> アフリカ州の経済発展を妨げる課題について、民族問題、人口問題などの視点から理解する。 	<p>【MQ3】 なぜ、アフリカ州の発展は遅れているのだろうか。 ～アフリカ州の発展を妨げている様々な原因を考えよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> アフリカ州の民族問題について、民族分布と国境線等の資料から考察する。 アフリカ州の人口問題について、死亡率、国民総所得等の資料から考察する。 	○		●	○【知識・技能】 アフリカ州が抱える課題について理解している。 ●【思考・判断・表現】 アフリカ州の経済発展を妨げる課題について、民族問題、食料不足に関わる問題などに関連付けて多面的・多角的に考察している。

次	時	ねらい	学習活動	評価の観点			評価規準
				知	思	態	
第二次 南アメリカ州	4	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の自然、歴史、産業、人々の暮らしの特色について理解する。 南アメリカ州の課題について、今後の学習に見通しをもつ。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【MQ4】南アメリカ州はどのようなところなのだろうか。 ～南アメリカ州の現状を知ろう～</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の自然、歴史、産業、人々の暮らしの特色を雨温図、写真等の資料から考察する。 南アメリカ州の課題の要因・背景について、自然、歴史等と関連させて、自身の考えをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ、南アメリカ州では森林が減少しているのだろうか。</p> </div>	○		●	<ul style="list-style-type: none"> ○【知識・技能】 南アメリカ州の自然、歴史、産業、人々の暮らしの特色の大観を理解している。 ●【主体的に学習に取り組む態度】 南アメリカ州の課題の要因・背景を予想し、その課題解決へ見通しをもって主体的に追求しようとしている。
	5 6	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州で進む大規模開発と環境問題との関係を理解する。 南アメリカ州の経済発展の問題点について、「持続可能な開発」の観点から考える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【MQ5】南アメリカ州はどのようにして経済発展させているのだろうか。 ～南アメリカ州の経済発展について知ろう～</p> <p>【MQ6】南アメリカ州の経済発展の問題点を説明しよう。 ～環境問題、持続可能性を視点に考えよう～</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の経済発展について、農業や資源・エネルギー開発の面から考察する。 南アメリカ州の経済発展の問題点について、「持続可能な開発」の観点から考察する。 	●		○	<ul style="list-style-type: none"> ●【知識・技能】 南アメリカ州の大規模な開発を通じた経済発展の方法を、写真やグラフ等の資料から、読み取っている。 ○【思考・判断・表現】 アマゾン川流域の大規模開発に起因する環境問題を踏まえ、開発の在り方について、持続可能な開発の観点から問題点を説明している。
第三次 まとめ	7 8	<ul style="list-style-type: none"> 各国が自国優先ではない世界全体の視野と、目先の利益ではない将来の視点を入れた「経済発展」の在り方について考える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【本質的な問い】 現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> アフリカ州・南アメリカ州の学習を踏まえ、貧しい国が「発展する」ための道筋を考える。 先進国と途上国のそれぞれの立場から考える。 先進国の発展の在り方についても考える。 	○		●	<ul style="list-style-type: none"> ○【知識・技能】 これからの経済発展については、各国が自国優先ではない世界全体の視野と、目先の利益ではない将来の視点を入れた経済発展観に立つことが必要であることを理解している。 ●【思考・判断・表現】 先進国と途上国のそれぞれの立場から、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○【主体的に学習に取り組む態度】 単元を通じた学習を振り返りながら、よりよい社会の実現を視野に課題を追求し、社会に関わろうという態度を示している。

10 指導過程（全 8 時間）

≪ 第一時 ≫

(1) 本時の目標

- ・ 単元を貫く問い（＝本質的な問い：「現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。」）について、単元全体を見通した課題意識をもつ。
- ・ アフリカ州の自然、歴史と文化など、アフリカ州の地域的特色の大観を理解する。
- ・ アフリカ州の大観を基に、「アフリカ州は、なぜ貧しい国々が多いのか」という課題について予想することを通して、アフリカ州の学習に見通しをもつ。

(2) 本時の学習過程と評価

	学習活動・学習内容	◆「主な発問」 ・ 指導上の留意点 ☆資料	【評価規準】 ・ (評価方法)	
導入	1 「国が発展する」ということのイメージ（＝概念）を共有する。 ①・ 経済的に豊か ・ 便利な物がたくさんある ・ 貧しい人がいない ②・ 技術 ・ 資源 ・ お金 ・ 人	◆①「『国が発展する』とは、どういう状態なのだろうか。」 ◆②「『国が発展する』ためには、何が必要なのだろうか。」 ・ ①を通して「国が発展する」ということの概念を共有し、②を通して、発展に向けた“道筋”を考えさせる。 ・ アジア州の香港やシンガポール等の写真から“経済発展”したイメージを膨らませる。	【評価規準】 ・ (評価方法)	
	2 単元で扱うアフリカ州と南アメリカ州の現状（生活の様子）を確認する。	・ 世界各国の平均所得と平均寿命、生活の様子を表した資料を提示し、アフリカ州と南アメリカ州の現状を説明する。 ☆ 資料①「世界保健チャート」など		
	3 単元を貫く問い（＝本質的な問い）について考え、単元全体の見通しをもつ。 ・ 外国企業から技術を教えてもらい、自国で生産し、輸出できるようにする。 ・ 鉱産資源を海外に輸出し、お金を稼ぎ、生活レベルを上げる。	◆ 【単元を貫く問い（＝本質的な問い）】 現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。 ・ アジア州での“経済発展”をテーマとした学習を想起させる。 ・ 単元の全体像を説明する。		【主体的に学習に取り組む態度】 前時のアジア州の「経済発展」をテーマとした学習を生かし、単元を貫く問いについて主体的に追求しようとしている。（発言、ワークシート）
	4 本時の学習に見通しをもつ。	【MQ 1】 アフリカ州はどのようなところなのだろうか。 ～アフリカ州の現状を知ろう～		
展開	5 アフリカ州の地形、文化や歴史について理解する。 ・ アフリカの北と南で異なる文化が形成されている。 ・ 古代には文明が発達し16世紀には欧米諸国によって植民地支配された。	・ 地形名を、教科書の地図を参考にワークシートの白地図に記入させる。 ・ アフリカ州の文化・歴史についてワークシートにまとめさせる。	【知識・技能】 アフリカ州の自然、歴史、文化等の特色の大観を理解している。（ワークシート）	
	6 アフリカ州の気候の特徴と、人口分布との関係調べる。 ・ ギニア湾沿いは人口密度が高い。 ・ サハラ砂漠など乾燥帯	◆ 「アフリカ州の気候の特徴と人口分布について、資料から分かることを説明しよう。」 ・ 人口密度の多い地域・少ない地域と降水量や地形との関連を考えさせる。 ☆ 資料「アフリカの降水量」、 「アフリ		

	<p>に属するところは人口密度が低いですが、ナイル川沿いは乾燥帯でも人口密度が高い。</p> <p>7 本時の学習内容をもとにアフリカ州を貫く問いに対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口が多いため、食料等が足りていないから。 広大な砂漠など、自然環境が厳しく農業ができないから。 植民地支配されていたため、発展が遅れているから。 	<p>カの人口密度」(教科書P. 90)</p> <ul style="list-style-type: none"> アフリカ州が世界全体から見ても人口増加が進んでいる地域であることを説明する。 <p>☆ 資料「世界地域別人口の移り変わり」(教科書P. 13)</p> <p>◆ なぜ、アフリカ州の国々は貧しい国が多いのか予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の内容(アフリカ州の自然、歴史、文化、人口分布)を基に予想させる。 予想したことをグループで共有したあと、ワークシートに記入させる。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 アフリカ州の課題の要因・背景を予想し、その課題解決へ見通しをもって主体的に追求しようとしている。 (発言、ワークシート)</p>
まとめ	<p>8 本時の学習内容を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返り、次の時間へむけて意識づけを行う。 	

(3) 板書計画

<p>【?】国が発展するとはどういう状態?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>【?】国が発展するためには何が必要?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	<p>【MQ1】アフリカ州はどのようなところなのだろうか。 ～アフリカ州の現状を知ろう～</p>	<p>【アフリカ州の課題】 なぜ、アフリカ州は貧しい国々が多いのか予想しよう。</p>
<p>[写真] 豊かな国</p> <p>[写真] 貧しい国</p>	<p>【問題】 アフリカ州の気候の特徴と人口分布について、資料から分かることを説明しよう。</p>	<p>【予想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口が多いため、食料が足りていない。 砂漠等があり、農業ができない。 植民地支配されていたため、発展が遅れている。
<p>【本質的な問い】 現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。</p>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱帯、温帯→人口密度が高い 乾燥帯 →人口密度が低い ※ナイル川沿いは、乾燥帯でも人口密度が高い。 <p>※アフリカは世界全体から見ても人口増加が進んでいる。</p>	

《第二時》

(1) 本時の目標

- ・ アフリカ州の国々が経済的に貧しい理由をモノカルチャー経済の実態と問題点から理解する。

(2) 本時の学習過程と評価

※ MQ：中心発問，SQ：下位の問い，SSQ：下位の下位の問い，A：答え

	学習活動・学習内容	◆「主な発問」 ・指導上の留意点 ☆資料	【評価規準】・(評価方法)
課題設定・仮説提示	1 アフリカ州は農産物や鉱産資源が豊富にあり、私たちの身近なものがアフリカ州とつながっていること、また、アフリカ州の豊かな農産物や鉱産資源に世界全体の国々が支えられているのにも関わらず、アフリカ州が経済的に貧しいということを確認する。	◆ 「資料にある9品目は、私たち日本人に身近なものばかりです。この中から、アフリカ州とつながりがあるものを選びよう。」 ・ 原材料に何が使われているかを考えさせる。 ☆ 資料 導-1「日本人に身近な9品目」 ・ アフリカ州の国々の所得が低いことを資料から確認する。 ☆ 資料 導-2「世界保健チャート」	
	2 中心発問に対する仮説を考えさせ、全体で交流する。 〔仮説〕：「〇〇〇から経済的に貧しいのだろうか」	◆ 【MQ2】 なぜ、アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのだろうか。～アフリカ州の経済の問題点を知ろう～ ・ 前時までのワークシートを利用し、仮説を立てさせる。 ・ グループ、全体での仮説の交流を通して、既存の理論をしっかりと表出させる。 ・ それぞれの仮説の違いに着目して、自分の考えを認識させる。	
	3 本時の学習に見通しをもつ。	・ アフリカ州の学習の全体像を説明する。	
仮説の吟味・検証	4 アフリカ州の農業と鉱産の特徴と問題点を理解する。 【A1】 「アフリカ州では、植民地時代にヨーロッパの国々によって農産物（コーヒー、カカオ、綿花、茶などを大規模にプランテーション農業で栽培）や鉱産資源の供給地として開発されたが、独立した現在でもコーヒー、カカオなどの商品作物の栽培と鉱産資源の採掘を行っている。」	◆ 【SQ1】 「アフリカ州ではどのようなものを、どのように生産しているのだろうか。」 ・ 【SQ1】 を、以下の4つの問いの答えを踏まえて考えさせる。 【SSQ1-1】「アフリカ州で生産される農産物には何があるのか。」 【SSQ1-2】「これらの農産物にはどのような特徴があるのか。」 【SSQ1-3】「なぜ、アフリカ州では商品作物が栽培されるようになったのだろうか。」 【SSQ1-4】「アフリカ州で農産物以外に生産されているものは何があるのか。」 ・ 国境線の決まり方等の既習事項を活用させる ☆ 資料①-1「アフリカの農業」 ☆ 資料①-2「分割されたアフリカ」 ☆ 資料①-3「アフリカの鉱産資源」 ☆ 資料①-4「プランテーション農業」	【知識・技能】 アフリカ州の農業、鉱産、貿易の特徴や問題点を、様々な資料を関連づけて読み取っている。 (ワークシート、発言)
	5 アフリカ州の貿易の特徴と問題点を理解する。 【A2】 「アフリカ州は、少ない種	◆ 【SQ2】 「アフリカ州は豊富な資源をどのように生かしているのだろうか。～アフリカ州の貿易の特徴を考えよう。」 ・ 日本(先進国)とも比較させる。 ・ 輸出入総額にも注目させる。	

	<p>類の農産物や鉱産資源を輸出しており、(※モノカルチャー経済)輸出総額も少ない。また、先進国からは工業製品を輸入している(※自分たちが食べる食物は海外からの輸入に頼っている)。」</p> <p>6 モノカルチャー経済の問題点を理解し、説明する。 【A3】 「モノカルチャー経済には、 ①農産物は天候によって採れる年と採れない年がある。また、農産物や鉱産資源は国際的な価格の変動が大きい。そのため、収入が安定せず、事業拡大ができない、暮らしが豊かにならない、等の問題が起こる。 ②工業製品を輸入に頼ることで、自国の産業が成長しない(工業化しない)。 また、先進国は安く原料を手に入れ大量生産しようとするため、原料の生産者(=アフリカ諸国)に入る収入が少なくなる。 という2つの問題点がある。」</p>	<p>☆ 資料②-1「アフリカ各国の主な輸出品」 ☆ 資料②-2「ガーナの主な輸出入品」 ☆ 資料②-3「日本の輸出品」 ・ 「モノカルチャー経済」の定義を確認する。 ・ アフリカ州は輸出向けの農産物を栽培し、自分たちが食べる食物は海外からの輸入に頼っていることを説明する。</p> <p>◆ 【SQ3】「モノカルチャー経済の問題点を説明しよう。」 ・ 【SQ3】を、以下の3つの問いの答えを踏まえて考させる。 【SSQ3-1.1】「なぜ、少ない種類の農産物や鉱産資源を輸出することが問題なのだろうか。」 【SSQ3-1.2】「『収入が安定しない』ことの問題点は何だろうか。」 【SSQ3-2】「なぜ、原材料を輸出し、工業製品を輸入することが問題なのだろうか。」 ・ グループや全体で、資料から読み取れること、分からないことを共有し、考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料③-3、資料③-6に着目するよう声掛けをする。 ☆ 資料③-1「アフリカ各国の主な輸出品」 ☆ 資料③-2「ガーナの主な輸出入品」 ☆ 資料③-3「カカオ豆の国際価格の推移」 ☆ 資料③-4「銅の国際価格の推移」 ☆ 資料③-5「チョコレート生産のコスト」 ☆ 資料③-6「先進国と途上国の関係」</p>	<p>【思考・判断・表現】 アフリカ州のモノカルチャー経済の問題点を、様々な資料を関連づけて多面的・多角的に考察している。 (ワークシート、発言)</p>
<p>一般化・理論の定式化</p>	<p>7 これまで学習したことを踏まえて中心発問を考える。</p>	<p>【MQ2】なぜ、アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのだろうか。～アフリカ州の経済の問題点を知ろう～</p>	<p>【知識・技能】 アフリカ州の経済の仕組みと問題点について理解している。 (ワークシート、発言)</p>
		<p>・ 「仮説提示」の場面で立てた仮説と、中心発問から獲得した答えを比較し、自</p>	

<p>8 「本質的な問い」と関連させながら、本時の学習内容を振り返る。</p>	<p>らの知識の深化を実感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「本質的な問い：現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか」に対する振り返りを行い、本時の学習内容との関係に気付くことができるようにする。 	
---	---	--

(3) 板書計画

【MQ2】なぜ、アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのだろうか。～アフリカ州の経済の問題点を知ろう～

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">仮説</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></div>	<p>【SQ1】 アフリカ州ではどのようなものを、どのように生産しているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒー、カカオなどの商品作物の栽培や鉱産資源の採掘が盛ん <p style="text-align: center;">↑</p> <p>植民地時代にヨーロッパ国々によって原料供給地として開発</p> <p>【SQ2】 アフリカ州の貿易の特徴を考えよう。</p> <p>〔輸出〕 少ない農産物や鉱産資源 → ☆ モノカルチャー経済</p> <p>〔輸入〕 工業製品 (※食料も)</p>	<p>【SQ3】 モノカルチャー経済の問題点を説明しよう</p> <p>《限られた輸出品に頼ることの問題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収入が不安定になる → 食料が手に入らない、暮らしが豊にならない、他の事業拡大にお金が使えない <p>《先進国と途上国の関係の問題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自国の産業が成長しない (工業化できない) ・ 原料の生産者 (=アフリカ諸国) に入る収入が少ない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">【MA2】</div>
--	---	--

④ 本時の「問いの構造図」

※MQ：中心発問，SQ：下位の問い，SSQ：下位の下位の問い，A：答え

【MQ2】：なぜ、アフリカ州は経済的に貧しい国が多いのだろうか。

【MA2】：アフリカ州は、植民地時代にヨーロッパの国々によって農産物（プランテーション農業）や鉱産資源の供給地として開発され、独立した現在でも商品作物の栽培と鉱産資源の採掘を行っている。そして、農産物や鉱産資源を海外に輸出する代わりに、工業製品を得るという貿易を行っている。つまり、アフリカ州の経済は、少ない種類の農産物や鉱産資源を輸出することで成り立つモノカルチャー経済で成り立っている。モノカルチャー経済には、以下の2つの問題点がある。

①農産物は天候によって採れる年や採れない年があり、また農産物や鉱産資源は国際的な価格の変動が大きい。そのため収入が不安定になる。②一次産品を輸出し、工業製品や食料を輸入に頼ることで、国内の産業が成長しない、原料の生産者（＝アフリカ諸国）に入るお金が少なくなる。

①・②のため、モノカルチャー経済で成り立っているアフリカ諸国は経済的に貧しくなる。

【SQ3】：モノカルチャー経済の問題点を説明しよう。

【A3】：

- ①農産物は天候によって採れる年と採れない年がある。また、農産物や鉱産資源は国際的な価格の変動が大きい。そのため、収入が安定せず、事業拡大ができない、暮らしが豊かにならない、等の問題が起こる。
- ②工業製品を輸入に頼ることで、自国の産業が成長しない（工業化しない）。また、先進国は安く原料を手に入れ大量生産しようとするため、原料の生産者（＝アフリカ諸国）に入る収入が少なくなる。

【SSQ3-1.1】：なぜ、少ない種類の農産物や鉱産資源を輸出することが問題なのだろうか。

【A3-1.1】：農産物は天候によって採れる年と採れない年がある。また、農産物や鉱産資源は国際的な価格の変動が大きい。→収入が安定しない。

【SSQ3-1.2】：「収入が安定しない」ことの問題点は何だろうか。

【A3-1.2】：食料が手に入らなくなる、他の事業拡大に資金がまわらない、暮らしが豊かにならない。

【SSQ3-2】：なぜ、原材料を輸出し、工業製品を輸入することが問題なのだろうか。

【A3-2】：工業製品を輸入に頼ることで、自国の産業が成長しないから（工業化しない）。また、先進国は安く原料を手に入れ大量生産しようとするため、原料の生産者に入る収入が少なくなるから。

【SQ1】：アフリカ州ではどのようなものを、どのように生産しているのだろうか。

【A1】：アフリカ州では、植民地時代にヨーロッパの国々によって農産物（コーヒー、カカオ、綿花、茶などを大規模にプランテーション農業で栽培）や鉱産資源の供給地として開発されたが、独立した現在でもコーヒー、カカオなどの商品作物の栽培と鉱産資源の採掘を行っている。

【SSQ1-1】：アフリカ州で生産される農産物には何があるか。

【A1-1】：コーヒー、カカオ、綿花、茶

【SSQ1-2】：これらの農産物にはどのような特徴があるか。

【A1-2】：自分たちが食べるためではなく、売るための作物。（＝商品作物）

【SSQ1-3】：なぜ、アフリカ州では商品作物が栽培されるようになったのだろうか。

【A1-3】：アフリカ州は、植民地時代にヨーロッパの国々によって農産物（プランテーション農業）の供給地として開発され、独立した現在でも商品作物の栽培を行っている

【SSQ1-4】アフリカ州で農産物以外に生産されているものは何があるか。

【A1-4】：鉱産資源（例：石油、レアメタル、金、ダイヤモンド）。農産物同様、植民地時代から開発が続く

【SQ2】：

アフリカ州は豊富な資源をどのように生かしているのだろうか。アフリカの貿易の特徴を説明しよう。

【A2】：

〔輸出〕
少ない種類の農産物や鉱産資源を輸出している。（※モノカルチャー経済）
また、輸出総額も少ない
〔輸入〕
先進国から工業製品を輸入している。
（※自分たちが食べる食料は海外からの輸入に頼っている）

《第三時》

(1) 本時の目標

- ・ アフリカ州の経済発展を妨げる課題について、民族問題、食料不足に関わる問題などと関連させて考える。

(2) 本時の学習過程と評価

※ MQ：中心発問，SQ：下位の問い，SSQ：下位の下位の問い，A：答え

	学習活動・学習内容	◆「主な発問」 ・ 指導上の留意点 ☆資料	【評価規準】 ・ (評価方法)
課題設定 ・ 仮説提示	1 アフリカ州には、経済的な仕組み以外にも、民族問題や食料不足といった問題があることを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ州では、紛争・内戦が起きていること、食料不足になっていることを資料から確認させる。 ☆ 資料 導-1「アフリカの国内紛争」 ☆ 資料 導-2「各国の一人一日あたりのカロリー供給量」 ☆ 資料 導-3「ハゲタカと少女」 	
	<p>【MQ3】なぜ、アフリカ州の発展は遅れているのだろうか。 ～アフリカ州の発展を妨げている様々な原因を考えよう。～</p>		
	2 紛争・内戦や食料不足の問題を中心に、中心発問に対する仮説を考えさせ、全体で交流する。 〔仮説〕：「○○○から、紛争・内戦は起こる」「○○○から、食料不足は起こる」	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ「紛争・内戦」や「食料不足」が起こるのか考えさせる。 ・ 前時までのワークシートを利用し、仮説を立てさせる。 ・ グループ、全体でも仮説の交流を通して、既存の理論をしっかりと表出させる。 ・ それぞれの仮説の違いに着目して、自分の考えを認識させる。 	
3 本時の学習に見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ州の学習の全体像を説明する。 		
仮説の吟味・検証	4 アフリカ州の紛争・内戦の原因とその影響を理解し、説明する。 【A1】 「アフリカ州は、植民地時代に、ヨーロッパの国々が緯線・経線を利用して直線的に引いた国境線を現在も使用しており、それによって、1つの国に複数の民族が暮らしていたり、同じ民族が複数の国に分かれて暮らしたりしている。そのため、言語、生活習慣、宗教などの違いから対立が生まれ、内戦・紛争に発展する。近年では、資源の奪い合いも紛争・内戦の大きな原因となっている。また、紛争・内戦によって難民の発生、政情不安、軍事費の増加、食料不足などの問題が発生している。」	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 【SQ1】「なぜ、アフリカ州では紛争・内戦が起こるのだろうか。」 ・ 【SQ1】を、以下の5つの問いの答えを踏まえて考えさせる。 【SSQ1-1】「アフリカ州の国境線は誰がどのように引いたのだろうか。」 【SSQ1-2】「それによって、アフリカ州に暮らす民族はどのように変わったのだろうか。」 【SSQ1-3】「1つの国の中に、複数の民族が暮らすことによってどのような問題が生じるのだろうか。」 【SSQ1-4】「他にも紛争・内戦が起こる原因はないだろうか。」 【SSQ1-5】「紛争・内戦によってどのような問題が生じるのだろうか。」 ・ グループ、全体で資料から読み取れること、分からないことを共有し、考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料①-3に着目するよう声掛けをする。 ・ 国境線の決まり方等の既習事項を活用させる。 ・ 紛争・内戦が起きている場所と鉱産資源の分布を比較させる。 ☆ 資料①-1「アフリカの歴史」 ☆ 資料①-2「ヨーロッパ諸国によるアフリカ支配」 	【知識・技能】 アフリカ州が抱える課題について理解している。 (ワークシート・発言)

<p>5 アフリカ州で食料不足になる原因とその影響を理解し、説明する。</p> <p>【A2】 「アフリカ州では、人口増加に食料生産が追いついておらず、また、農業政策に課題がある（例：商品作物の栽培が主で、自給用作物が少ない。農業関連の基盤が少ない）ため、食糧不足になる。食料不足によって、栄養不足、飢餓となり、医療技術が進歩していないこともあって、乳児死亡率が高い等の問題も起きている。</p> <p>そのため、食料不足を解消するために、森林を伐採し、また焼畑周期を早めることによって農地拡大に取り組んでいるが、それらが原因で森林破壊や耕地の衰えによる砂漠化が進んでいる。また、農村で暮らせなくなった人々は、都市に移り住むが、収入も低く、水道や電気が整備されていないスラムで生活しており、都市への人口集中が問題となっている。」</p>	<p>☆ 資料①-3「アフリカ西部の民族のまとまりと国境線」 ☆ 資料①-4「アフリカの本来の言語とおもな公用語」 ☆ 資料①-5「アフリカの国内紛争」</p> <p>◆ 【SQ2】「なぜ、アフリカ州では、食料不足になるのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【SQ2】を、以下の5つの問いの答えを踏まえて考えさせる。 <p>【SSQ2-1】「どのような時に食料不足は起こるのだろうか。」 【SSQ2-2】「アフリカ州の農業にはどのような課題があるのだろうか。」 【SSQ2-3】「食料不足によってどのような問題が生じるのだろうか。」 【SSQ2-4】「食料不足を改善するためにどのような対策をしているのだろうか。」 【SSQ2-5】「農村で暮らせなくなった人々はどこでどのように暮らすのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ、全体で資料から読み取れること、分からないことを共有し、考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料②-2に着目するよう声掛けをする。 ・ 乾燥帯での生活等の既習事項を活用させる。（教科書P.42,43） <p>☆ 資料②-1「地域別人口割合の推移と出生率」 ☆ 資料②-2「アフリカの農業の課題」 ☆ 資料②-3「食糧不足に伴って発生する問題」 ☆ 資料②-4「進む砂漠化」 ☆ 資料②-5「都市化とスラムの拡大」</p>	<p>【知識・技能】 アフリカ州が抱える課題について理解している。（ワークシート・発言）</p>
<p>《食料不足による負のスパイラル》</p> <pre> graph TD A[食料不足] --> B[栄養不足・飢餓] B --> C[農地拡大] C --> D[森林伐採・砂漠化] D --> E[耕作放棄] E --> F[都市の人口増加 スラムの形成] F --> A </pre>		
<p>一般化・理論の定</p> <p>6 これまで学習したことを踏まえて中心発問を考える。</p>	<p>【MQ3】なぜ、アフリカ州の発展は遅れているのだろうか。 ～アフリカ州の発展を妨げている様々な原因を考えよう～</p> <p>【思考・判断・表現】 アフリカ州の経済発展を妨げる課題について、民族問題、食料不足に関わる問題などと</p>	

【MA3】：アフリカ州では、紛争・内戦や食料不足等の問題がある。

①紛争・内戦が起こる原因は、アフリカ州は、植民地時代に、ヨーロッパの国々が緯線・経線を利用して直線的に引いた国境線を現在も使用しており、それによって、1つの国に複数の民族が暮らしていたり、同じ民族が複数の国に分かれて暮らしたりしている。そのため、言語、生活習慣、宗教などの違いから対立が生まれ、紛争・内戦に発展する。近年では、資源の奪い合いも紛争・内戦の大きな原因となっている。また、紛争・内戦によって難民の発生、政情不安、食料不足などの問題が発生している。

②アフリカ州では、人口増加に食料生産が追いついておらず、また、農業政策に課題がある（例：商品作物の栽培が主で、自給用作物が少ない。農業関連の基盤が少ない）ため、食料不足になる。食料不足によって、栄養不足、飢餓となり、医療技術が進歩していないこともあって、乳児死亡率が高い等の問題も起きている。そのため、食料不足を解消するために、森林を伐採し、また焼畑周期を早めることによって農地拡大に取り組んでいるが、それらが原因で森林破壊や耕地の衰えによる砂漠化が進んでいる。また、農村で暮らせなくなった人々は、都市に移り住むが、収入も低く、水道や電気が整備されていないスラムで生活しており、都市への人口集中が問題となっている。

①・②のように、アフリカ州が抱える問題は複雑に関係し合っているため、発展を妨げる原因になっている。

関連付けて多面的・多角的に考察している。
(ワークシート・発言)

7 「本質的な問い」と関連させながら、本時の学習内容を振り返る。

- ・ 「仮説提示」の場面で立てた仮説と、中心発問から獲得した答えを比較し、自らの知識の深化を実感させる。
- ・ 経済的に貧しい国々が多いアフリカ州に対して、どのような支援をすることが望ましいのか考えさせる。
- ・ 「本質的な問い：現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか」に対する振り返りを行い、本時の学習内容と関係に気づくことができるようにし、今後の学習に見通しをもつ。

(3) 板書計画

【MQ3】 なぜ、アフリカ州の発展は遅れているのだろうか。～アフリカ州の発展を妨げている様々な原因を考えよう～

仮説

ホワイトボード	

【SQ1】 なぜ、アフリカ州では紛争・内戦が起こるのだろうか。

〔原因〕

- ・ 民族対立
→植民地時代にヨーロッパの国々が引いた国境線を現在でも使用しており、民族分布と国境線が一致していない。
- ・ 資源の奪い合い

〔影響〕

- ・ 難民の発生、政情が不安定、農業生産ができない、食料不足になる

【SQ2】 なぜ、アフリカ州では食料不足になるのだろうか。

〔原因〕

- ・ 人口増加
- ・ 農業技術が進歩していない
- ※農業の課題…灌漑設備がない、輸送手段がない
- 〔生じる問題〕
- ・ 栄養不足、飢餓 →乳児死亡率が高い
- ※医療が未発達
- 〔対策〕
- ・ 農地拡大 (※森林伐採、焼畑農業)
→森林破壊、砂漠化の進行
- ※農村に暮らせなくなった人
→都市に暮らす(※スラムが形成される)

【MA3】

(4) 本時の「問いの構造図」

※MQ：中心発問，SQ：下位の問い，SSQ：下位の下位の問い，A：答え

【MQ3】なぜ、アフリカ州の発展は遅れているのだろうか。～アフリカ州の発展を妨げている様々な原因を考えよう～

【MA3】：アフリカ州では、紛争・内戦や食料不足等の問題がある。

①紛争・内戦が起こる原因は、アフリカ州は、植民地時代に、ヨーロッパの国々が緯線・経線を利用して直線的に引いた国境線を現在も使用しており、それによって、1つの国に複数の民族が暮らしていたり、同じ民族が複数の国に分かれて暮らしたりしている。そのため、言語、生活習慣、宗教などの違いから対立が生まれ、紛争・内戦に発展する。近年では、資源の奪い合いも紛争・内戦の大きな原因となっている。また、紛争・内戦によって難民の発生、政情不安、食料不足などの問題が発生している。

②アフリカ州では、人口増加に食料生産が追い付いておらず、また、農業政策に課題がある（例：商品作物の栽培が主で、自給用作物が少ない。農業関連の基盤が少ない）ため、食料不足になる。食料不足によって、栄養不足、飢餓となり、医療技術が進歩していないこともあって、乳児死亡率が高い等の問題も起きている。そのため、食料不足を解消するために、森林を伐採し、また焼畑周期を早めることによって農地拡大に取り組んでいるが、それらが原因で森林破壊や耕地の衰えによる砂漠化が進んでいる。また、農村で暮らせなくなった人々は、都市に移り住むが、収入も低く、水道や電気が整備されていないスラムで生活しており、都市への人口集中が問題となっている。

①・②のように、アフリカ州が抱える問題は複雑に関係し合っているため、発展を妨げる原因になっている。

【SQ1】：なぜ、アフリカ州では紛争・内戦が起こるのだろうか。

【A1】：アフリカ州は、植民地時代に、ヨーロッパの国々が緯線・経線を利用して直線的に引いた国境線を現在も使用しており、それによって、1つの国に複数の民族が暮らしていたり、同じ民族が複数の国に分かれて暮らしたりしている。そのため、言語、生活習慣、宗教などの違いから対立が生まれ、内戦・紛争に発展する。近年では、資源の奪い合いも紛争・内戦の大きな原因となっている。また、紛争・内戦によって難民の発生、政情不安、軍事費の増加、食料不足などの問題が発生している。

【SSQ1-1】：アフリカ州の国境線は誰がどのように引いたのだろうか。

【A1-1】：植民地時代に、ヨーロッパの国々が緯線・経線を利用して直線的に引いた。

【SSQ1-2】：それによって、アフリカ州に暮らす民族はどのようになったのだろうか。

【A1-2】：1つの国に複数の民族が暮らしていたり、同じ民族が複数の国に分かれて暮らしたりしている。

【SSQ1-3】：1つの国の中に、複数の民族が暮らすことによってどのような問題が生じるのだろうか。

【A1-3】：言語、生活習慣、宗教などの違いから対立が生まれる。

【SSQ1-4】：他にも紛争・内戦が起こる原因はないか。

【A1-4】：資源の奪い合い（例：鉱産資源、水）

【SSQ1-5】：紛争・内戦によってどのような問題が生じるのだろうか。

【A1-5】：難民の発生、政情が不安定になる、軍事費が増え他にお金が使えない、食料不足になる。

【SQ2】：なぜ、アフリカ州では、食料不足になるのだろうか？

【A2】：アフリカ州では、人口増加に食料生産が追い付いておらず、また、農業政策に課題がある（例：商品作物の栽培が主で、自給用作物が少ない。農業関連の基盤が少ない）ため、食料不足になる。食料不足によって、栄養不足、飢餓となり、医療技術が進歩していないこともあって、乳児死亡率が高い等の問題も起きている。そのため、食料不足を解消するために、森林を伐採し、また焼畑周期を早めることによって農地拡大に取り組んでいるが、それらが原因で森林破壊や耕地の衰えによる砂漠化が進んでいる。また、農村で暮らせなくなった人々は、都市に移り住むが、収入も低く、水道や電気が整備されていないスラムで生活している。

【SSQ2-1】：どのような時に食料不足は起こるのだろうか。

【A2-1】：人口に対して、生産される作物が少ないときに食料不足は起こる。

【SSQ2-2】：アフリカ州の農業にはどのような課題があるのだろうか。

【A2-2】：商品作物の栽培が主で、自給用作物が少ない。農業関連の基盤が少ない（例：灌漑設備がない、輸送手段が欠如している）。

【SSQ2-3】：食料不足によってどのような問題が生じるのだろうか。

【A2-3】：栄養不足、飢餓（※乳児死亡率の高さ、医療の未発達）。

【SSQ2-4】：食料不足を改善するためにどのような対策をしているのだろうか。

【A2-4】：森林を伐採し、また焼畑周期を早めることによって農地拡大に取り組む。しかし、これが原因で森林破壊や耕地の衰えによる砂漠化が進んでいる。

【SSQ2-5】：農村で暮らせなくなった人々はどこでどのように暮らすのだろうか。

【A2-5】：都市に移り住むが、収入も低く、水道や電気が整備されていないスラムで生活する。（※都市に人口が集中する。）

《第四時》

(1) 本時の目標

- ・ 南アメリカ州の自然，歴史，産業，人々の暮らしなど，南アメリカ州の地域的特色の大観を理解する。
- ・ 南アメリカ州の大観を基に，「南アメリカ州では，なぜ森林が減少しているのか」という課題について予想することを通して，南アメリカ州の学習に見通しをもつ。

(2) 本時の学習過程と評価

	学習活動・学習内容	◆「主な発問」 ・ 指導上の留意点 ☆資料	【評価規準】 ・ (評価方法)
導入	1 「新興途上国(=BRIC)」について説明し，南アメリカ州の発展途上国であるブラジルが現在急成長していることを確認する。	◆ 「BRICは，発展途上国の中でも，現在急成長している4つの国の頭文字を表しています。国名を考えてみよう。」 ・ B: ブラジル，R: ロシア，I: インド，C: 中国であることを確認する。 ・ 同じ発展途上国でも，経済発展が進む国々があること，その代表国がBRICであることを理解させる。 ☆ 資料 導1「GDP(国内総生産)の変化」 ・ GDP(国内総生産)の意味を説明する。 ☆ 資料 導2「BRICsを知ってる？」	
	2 本時の学習に見通しをもつ。	【MQ4】 南アメリカ州はどのようなところなのだろうか。 ～南アメリカ州の現状を知ろう～	
展開	3 南アメリカ州の地形，文化・歴史や産業について理解する。 ・ 南アメリカ州もアフリカ州と同様に，古代には文明が発達したが，16世紀には欧米諸国によって植民地支配された。 ・ 農業が盛んで，鉱産資源も豊富にある。	・ 地形名を，教科書の地図を参考にワークシートの白地図に記入させる。 ・ 南アメリカ州の文化・歴史や産業についてワークシートにまとめる。 ・ アフリカ州と比較させ，歴史や産業など，二つの州に共通点が多いことを確認する。	【知識・技能】 南アメリカ州の自然，歴史・文化，産業の特色の大観を理解している。(ワークシート)
	4 アマゾン川流域での人々の生活を取り上げ，南アメリカ州では人々が自然と共生しながら暮らしていたことを理解する。	◆ 「南アメリカ州で行われている“焼畑農業”の仕組みを図を描いて説明しよう。」 ・ 資料から，南アメリカ州の人々が行ってた従来の“焼畑農業”の仕組みを理解させるとともに，“焼畑農業”では，大規模な森林破壊につながらないことを理解させる。 ☆ 資料「焼畑農業のサイクル」(教科書P.119) ☆ 資料①「焼畑農業のサイクル」	
	5 南アメリカ州で熱帯雨林が減少している理由を予想する。 ・ 農産物の収穫を増やそうと思い，農地拡大のために森林を伐採した ・ 焼畑農業のサイクルが成立しなくなった	◆ なぜ，アマゾン川流域では熱帯雨林が減少しているのだろうか。 ・ アマゾン川流域で熱帯雨林が減少していることを説明する。 ・ 本時の学習内容を基に予想をさせる。 ・ グループ，全体で交流したあと，ワークシートに記入させる。 ☆ 資料「世界の森林減少率」(教科書P.117)	【主体的に学習に取り組む態度】 南アメリカの課題の要因・背景を予想し，その課題解決へ見通しをもって主体的に追求しようとしている。(ワークシート，発言)
まとめ	6 本時の学習内容を振り返る。	・ 本時を振り返り，次の時間に向けて意識づけを行う。	

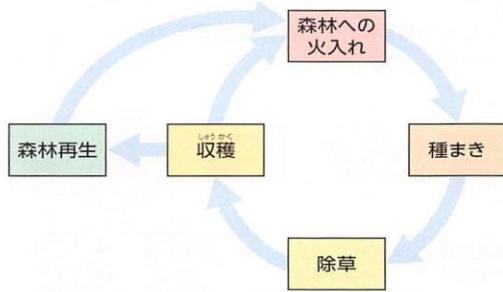
(3) 板書計画

【MQ 4】南アメリカ州はどのようなところなのだろうか。～南アメリカ州の現状を知ろう。～

【問題】

南アメリカ州で行われている“焼畑農業”の仕組みを図を描いて説明しよう。

なぜ、アマゾン川流域では、熱帯雨林が減少しているのだろうか。



【予想】

- ・ 農産物の収穫を増やそうと思い、農地拡大のために森林を伐採した。
- ・ 焼畑農業のサイクルが成立しなくなった。
- ・ 森林を伐採して工場をたくさん建てたから。

《第五・六時》

(1) 本時の目標

- ・ 南アメリカ州で進む大規模開発と環境問題との関係を理解する。
- ・ 南アメリカ州の経済発展の問題点について、「持続可能な開発」の観点から考える。

(2) 本時の学習過程と評価

※ MQ：中心発問，SQ：下位の問い，SSQ：下位の下位の問い，A：答え

	学習活動・学習内容	◆「主な発問」 ・ 指導上の留意点 ☆資料	【評価規準】・（評価方法）
課題設定・仮説提示	1 ブラジルのGDP（国内総生産）の変化のグラフから，急激な経済成長が進んでいることを確認する。	◆ 「グラフから読み取れることを説明しよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ GDP（国内総生産）の意味を説明する。 ・ GDPの上昇を表すグラフ等から，ブラジルで急激な経済成長が進んでいることを説明する。 ☆ 資料 導1「GDPの変化」 ☆ 資料 導2「BRICsを知ってる？」 ☆ 資料 導3「リオデジャネイロオリンピックの様子」	
	2 中心発問に対する仮説を考えさせ，全体で交流する。 〔仮説〕：「〇〇〇して，経済発展させている。」	◆ 【MQ5】 南アメリカ州はどのように経済発展させているのだろうか。～南アメリカ州の経済発展について知ろう。～ <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジルを中心に考えさせる。 ・ 前時までのワークシートを利用し，仮説を立てさせる。 ・ グループ，全体でも仮説の交流を通して，既存の理論をしっかりと表出させる。 ・ それぞれの仮説の違いに着目して，自分の考えを認識させる。 	
	3 本時の学習に見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ州の学習を思い出し，仮説に対して何が分かれば解決するか考えさせる。 	
仮説の吟味・検証	4 ブラジルの国土面積や人口，農業・鉱業の特徴を理解する。 【A1】 「ブラジルでは，広大な国土と豊富な労働力・鉱産資源を生かし，かつてはコーヒー豆が主だった生産品が，現在では，大豆，牛肉，石油・鉄鉱石などの鉱産資源，機械類，バイオエタノールに変化している。それらの輸出に伴う総額も増えている。」	◆ 【SQ1】 「南アメリカ州（ブラジル）では，どのようなものを生産しているのだろうか。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 【SQ1】 を，以下の2つの問いの答えを踏まえて考えさせる。 ・ 【SSQ1-1】 「ブラジルはどのような国なのだろうか。」 ・ 【SSQ1-2】 「ブラジルは自国の特徴を生かし，どのようなものを生産しているのだろうか。（※輸出品の変化にも着目しよう。）」 ・ ブラジルは，経済発展を支える条件（労働力，資源，土地）が整っていることを確認させる。 ・ アフリカ州のモノカルチャー経済についての既習事項を活用させる。 ・ 輸出品の変化に着目させ，モノカルチャー経済から脱却して，工業化していることを理解させる。 ・ バイオエタノールについて説明する。 ☆ 資料①-1「面積の大きい国，人口の多い国（2020年）」 ☆ 資料①-2「ブラジルの人口の推移」	

<p>5 ブラジルの経済発展が進む背景・要因について理解する。</p> <p>【A2】 「①アメリカ、日本などの先進国の大企業が資金援助や技術支援を行い、機械化や品種改良・土地の改良などを行い、工業化が進むとともに、農業の大規模化が進んだから。 ②政府が主導してアマゾンの大規模開発を行ったことによって、①熱帯雨林を伐採し農地を拡大したから。②鉱山を大規模開発し鉄鉱石の採掘を増やしたから。③道路や鉄道を開通し、港と都市を結ぶ交通路が整備され、物資の運搬が可能になったから。④アマゾン川の豊富な水資源を利用したダムを建設し、電力を供給できるようになったから。」</p> <p>6 南アメリカ州で、経済発展に伴って起こっている問題を理解する。</p> <p>【A3】 「①貧富の差が拡大している。→機械化によって職を失った人が都市へ移る。そして、スラムが形成され、治安の悪化や衛生状態の悪化などの問題も起きている。 ②環境破壊が進んでいる。→農地の拡大のために、アマゾンの熱帯雨林を伐採することによって、急激に森林の減少が進んでいる。」</p>	<p>☆ 資料①-3「鉄鉱石の産出国と輸出量」 ☆ 資料①-4「ブラジルの輸出品の変化」 ☆ 資料①-5「ブラジルの主な輸出農作物」 ☆ 資料①-6「バイオ燃料の開発」 ☆ 資料①-7「主な国の大豆生産量の推移」 ☆ 資料①-8「ブラジルの牛肉輸出量の推移」</p> <p>◆ 【SQ2】「なぜ、ブラジルでは経済発展させることができたのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ、全体で資料から読み取れること、分からないことを共有し、考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料②-1に着目するよう声掛けをする。 ・ 発展の遅れるアフリカ州と比較させながら、考えさせる。 <p>☆ 資料②-1「ブラジルのアマゾン開発」 ☆ 資料②-2「ブラジルの農産物の収穫面積の変化」 ☆ 資料②-3「ブラジルの工業化」</p> <p>◆ 【SQ3】「現在、南アメリカ州は経済発展によって、どのような問題が生じているのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ、全体で資料から読み取れること、分からないことを共有し、考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料③-3, 資料③-5に着目するよう声掛けをする。 <p>☆ 資料③-1「熱帯雨林の破壊」 ☆ 資料③-2「アマゾン熱帯雨林破壊のサイクル」 ☆ 資料③-3「世界の森林面積の変化」 ☆ 資料③-4「ブラジルの農産物収穫面積の推移」 ☆ 資料③-5「都市への人口集中」 ☆ 資料③-6「ブラジルの漁業」 ☆ 資料③-7「声を上げる先住民たち」</p>	<p>【知識・技能】 南アメリカ州の大規模な開発を通じた経済発展の方法を、写真やグラフ等の資料から読み取っている。 (ワークシート・発言)</p>
<p>7 これまで学習したことを踏まえて【MQ5】を考える。</p>	<p>【MQ5】南アメリカ州はどのように経済発展させているのだろうか。～南アメリカ州の経済発展について知ろう。～</p>	

【MA 5】：南アメリカ州（ブラジル）では、広大な国土と豊富な労働力・鉱産資源を生かし、かつてはコーヒー豆が主だった生産品が、現在では、大豆、牛肉、石油・鉄鉱石などの鉱産資源、機械類、バイオエタノールに変化しており、それらの輸出に伴う総額も増え、経済発展が進んでいる。その背景には、
 ①アメリカ、日本などの先進国の大企業が資金援助や技術支援を行い、機械化や品種改良・土地の改良などを行い、工業化が進むとともに、農業の大規模化が進んだこと
 ②政府が主導してアマゾンの大規模開発を行ったことによって、
 (1) 熱帯雨林を伐採し農地を拡大したこと、 (2) 鉱山を大規模開発し鉄鉱石の採掘を増やしたこと、
 (3) 道路や鉄道を開通し、港と都市を結ぶ交通路が整備され、物資の運搬が可能になったこと、
 (4) アマゾン川の豊富な水を利用したダムを建設し、電力を供給できるようになったこと、
 などがある。これらによって南アメリカ州では経済成長を可能にすることができた。しかし、急速な経済成長に伴って、貧富の差の拡大（→機械化によって職を失った人が都市へ移り、スラムが形成され、治安の悪化や衛生状態の悪化などの問題も起きている）、環境破壊の進行（→農地の拡大のために、アマゾンの熱帯雨林を伐採することによって、急激に森林の減少が進んでいる）などの問題が生じている。

一般化・理論の定式化

8 南アメリカ州の経済発展の問題点について、「持続可能な開発」の観点から【MQ 6】を考える。
 ・ 環境に配慮せず、無秩序に開発を行っている。
 ・ 鉱産資源はいつか無くなるものであり、発展を継続させることはできない。

9 「本質的な問い」と関連させながら、本時の学習内容を振り返る。

・ 「仮説提示」の場面で立てた仮説と、中心発問から獲得した答えを比較し、自らの知識の深化を実感させる。

◆ 【MQ 6】南アメリカ州の経済発展の問題点を説明しよう。
 ～環境問題、持続可能性を視点に考えよう。～

・ 【MQ 5】や、これまでのワークシートを利用し、南アメリカ州全体の学習を踏まえた上で考えさせる。
 ・ グループ、全体での交流を通して、ワークシートに記入させる。

・ 「本質的な問い：現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか」に対する振り返りを行い、本時の学習内容との関係に気づくことができるようにし、今後の学習に見通しをもつ。

【思考・判断・表現】
 アマゾン川流域の大規模開発に起因する環境問題を踏まえ、開発の在り方について、持続可能な開発の観点から問題点を説明している。
 （ワークシート・発言）

(3) 板書計画

【MQ 5】南アメリカ州（ブラジル）は、どのようにして経済発展させているのだろうか。

仮説

ホワイトボード	

【SQ 1】ブラジルではどのようなものを生産しているのだろうか。

(ブラジルの特徴)：面積広い、人口増加している、鉱産資源が豊富

〔昔〕特定の作物（コーヒー）が中心

〔今〕大豆、鉄鉱石、機械類、バイオエタノール（※輸出総額も大幅増）

【SQ 2】なぜ、ブラジルでは経済発展させることができたのだろうか。

①先進国の大企業が資金援助や技術支援
 →工業化、農業の大規模化

②政府主導によるアマゾンの大規模開発

→熱帯雨林を伐採し、農地を拡大

→鉱山の大規模開発⇒鉄鉱石の採掘増

→道路や鉄道を開通⇒物資の運搬可能に

→ダムの建設⇒電力供給が可能に

【SQ 3】現在、南アメリカ州は経済発展によって、どのような問題が生じているのだろうか。

①貧富の差 …人口の都市集中→スラムが形成（治安の悪化、衛生状態の悪化）

②環境破壊が進んでいる…農地の拡大のための森林伐採→急激に森林の減少が進む

【MA 5】

【MQ 6】南アメリカ州の経済発展の問題点を説明しよう。
 ～環境問題、持続可能性を視点に考えよう。～

【MA 6】

④ 本時の「問いの構造図」

※MQ：中心発問，SQ：下位の問い，SSQ：下位の下位の問い，A：答え

【MQ5】：南アメリカ州（ブラジル）はどのようにして経済発展させているのだろうか。

【MA5】：南アメリカ州（ブラジル）では、広大な国土と豊富な労働力・鉱産資源を生かし、かつてはコーヒー豆が主だった生産品が、現在では、大豆、牛肉、石油・鉄鉱石などの鉱産資源、機械類、バイオエタノールに変化しており、それらの輸出に伴う総額も増え、経済発展が進んでいる。

その背景には、

- ①アメリカ、日本などの先進国の大企業が資金援助や技術支援を行い、機械化や品種改良・土地の改良などを行い、工業化が進むとともに、農業の大規模化が進んだこと
- ②政府が主導してアマゾンの大規模開発を行ったことによって、
 - ①熱帯雨林を伐採し農地を拡大したこと、
 - ②鉱山を大規模開発し鉄鉱石の採掘を増やしたこと、
 - ③道路や鉄道を開通し、港と都市を結ぶ交通路が整備され、物資の運搬が可能になったこと、
 - ④アマゾン川の豊富な水を利用したダムを建設し、電力を供給できるようになったこと、

などがある。これらによって南アメリカ州では経済成長を可能にすることができた。

しかし、急速な経済成長に伴って、貧富の差の拡大（→機械化によって職を失った人が都市へ移り、スラムが形成され、治安の悪化や衛生状態の悪化などの問題も起きている）、環境破壊の進行（→農地の拡大のために、アマゾンの熱帯雨林を伐採することによって、急激に森林の減少が進んでいる）などの問題が生じている。

【SQ2】：なぜ、ブラジルでは経済発展させることができたのだろうか。

【A2】：

- ①アメリカ、日本などの先進国の大企業が資金援助や技術支援を行い、機械化や品種改良・土地の改良などを行い、工業化が進むとともに、農業の大規模化が進んだから。
- ②政府が主導してアマゾンの大規模開発を行ったことによって、
 - 熱帯雨林を伐採し、農地を拡大したから。
 - 鉱山を大規模開発し、鉄鉱石の採掘を増やすことができるようになったから。
 - 道路や鉄道を開通し、港と都市を結ぶ交通路が整備され、物資の運搬が可能になったから。
 - アマゾン川の豊富な水を利用したダムを建設し、電力を供給できるようになったから。

【SQ3】：現在、南アメリカ州は経済発展によって、どのような問題が生じているのだろうか。

【A3】：

- ①貧富の差が拡大している。
 - 機械化によって職を失った人が都市へ移る。そして、スラムが形成され、治安の悪化や衛生状態の悪化などの問題も起きている。
- ②環境破壊が進んでいる。
 - 農地の拡大のために、アマゾンの熱帯雨林を伐採することによって、急激に森林の減少が進んでいる。

【SQ1】：南アメリカ州（ブラジル）では、どのようなものを生産しているのだろうか。

【A1】：

南アメリカ州（ブラジル）では、広大な国土と豊富な労働力・鉱産資源を生かし、かつてはコーヒー豆が主だった生産品が、現在では、大豆、牛肉、石油・鉄鉱石などの鉱産資源、機械類、バイオエタノールに変化している。それらの輸出に伴う総額も増えている。

【SSQ1-1】：ブラジルはどのような国なのだろうか。

【A1-1】：国土面積が広く、人口も増加している。鉱産資源も豊富にある。（※広大な農地・工業用地、労働力、生産のための原材料が確保できる）

【SSQ1-2】：ブラジルは自国の特徴を生かし、どのようなものを生産しているのだろうか。（※輸出品の変化にも着目しよう）

【A1-2】：昔は、コーヒー豆が主だった（※モノカルチャー経済）が、現在では、大豆、牛肉、石油・鉄鉱石などの鉱産資源、機械類、バイオエタノールを生産している。それらの輸出に伴う総額も増えている。

《第七・八時》

(1) 本時の目標

- ・ 単元を貫く問い（＝本質的な問い：「現在，経済的に貧しい国々がこれから発展するためには，どのような道筋があるのだろうか」）を通して，各国が自国優先ではない世界全体の視野と，目先の利益ではない将来の視点を入れた「経済発展」の在り方を考える。

(2) 本時の学習過程と評価

	学習活動・学習内容	◆「主な発問」 ・ 指導上の留意点 ☆資料	【評価規準】 ・ (評価方法)
導入	1 既習事項（①アフリカ州の国々が経済的に貧しく，発展が遅れている理由 ②南アメリカ州の発展の様子とそれに伴って起こっている問題）について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までのワークシートを利用し，振り返らせる。 ・ ペア，全体で確認する。 ・ アフリカ州が経済発展を進めようとしていること，南アメリカ州で経済発展に伴う問題が起こっていることを確認させる。 	
展開	2 単元を貫く問い（＝本質的な問い）を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進国からの技術支援を受けながら，豊富な鉱産資源を生かして工業化する（モノカルチャー経済から脱出する） ・ 自国の豊富な労働力，土地を生かし，農業を大規模化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 【単元を貫く問い（＝本質的な問い）】 現在，経済的に貧しい国々がこれから発展するためには，どのような道筋があるのだろうか。 ・ 前時までの既習事項を生かし，経済的に貧しい国が「発展する」ための道筋を考えさせる。 ・ グループで共有させながら考えさせる。 ・ アフリカ州には豊富な労働力，鉱産資源，未開発の土地があることを確認する。 ・ グループ，全体での仮説の交流を通して，それぞれの考えの違いに着目して，自分の考えを認識させる。 	
	3 ①先進国が途上国の経済発展を支援する目的，②経済発展が進むことによって起こる環境問題について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ①・ 貧しい国々を助けたいから。 ・ 先進国にとって利益があるから。 ・ 途上国にある鉱産資源が必要だから。 ②・ 南アメリカ州のように森林伐採などの問題が起こる。 ・ 鉱産資源がなくなってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆① 「なぜ，先進国は途上国の経済発展を支援するのだろうか。」 ☆ 資料①-1「地域別人口割合の推移」 ☆ 資料①-2「主な国の人口推移と予測」 ☆ 資料①-3「アフリカに進出する中国」 ☆ 資料①-4「主な発展途上国への依存額が高い品物リスト」 ・ グループ，全体で資料から読み取れること，分からないことを共有し，考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料①-3，資料①-4に着目するよう声掛けをする。 ・ 途上国は人口が多く，巨大な市場となるため，自国の経済成長にとって重要であるから，また，途上国で生産されているものが自国の生活にとって欠かせないものであるから，という先進国側の考えを理解させる。 ・ 先進国の利益目的もあり，アフリカ州ではモノカルチャー経済から脱出できないこと，鉱産資源が枯渇していくことを理解させる。 ◆② 「全世界で経済発展が進むことによって，地球全体はどのようなようになっていくのだろうか。」 ☆ 資料②-1「世界のエネルギー消費量の推移」 	

<p>4 これからの全世界の国々の「経済発展」の在り方について考える。</p> <p>①・ 途上国が貧しいままの状態では不公平だから経済発展するべきだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進国の人々は自分たちの生活の在り方を考えなければならない。 <p>②・ 途上国へ技術支援して工業化を進めることで経済発展を実現するが、環境への配慮も怠らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進国は自国の利益目的ではなく、途上国の人々の生活レベルの向上を目指して支援をする。 <p>5 日本の「経済発展」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賛成。 自国の経済成長を目的に、日本もGDPが世界第一位のアメリカ等の技術を学び、新しい分野の工業化を目指す。 ・ 反対。 資源や人口の少ない日本にとってアフリカは重要な存在であり、アフリカが発展することで日本の発展にも繋がるから。 	<p>☆ 資料②-2「二酸化炭素排出量」</p> <p>☆ 資料②-3「地球温暖化のしくみと影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ、全体で資料から読み取れること、分からないことを共有し、考えさせる。 ・ 読み取りの困難な生徒へは資料②-3に着目するよう声掛けをする。 ・ 環境破壊が進み、その被害を最初に受けるのは弱い立場にある途上国の人々であることを理解する。 ・ 地球の資源は有限であり、その資源が枯渇すると私たちの生活はどのようなになるのかイメージさせる。 <p>◆① 「本当に、全世界が経済発展を進めなければならないのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「経済発展」をすることが良いことなのかどうか思考を揺さぶる。 ・ 先進国と途上国のそれぞれの立場から考えさせる。 <p>◆② 【本質的な問い（一般化）】 これからの「経済発展」はどのようにあるべきなのだろうか。</p> <p>【普遍的理論】：これからの経済発展については、自国優先ではない世界全体の視野と、目先の利益ではない将来の視点を入れた経済発展観が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で交流、共有したあと、ワークシートに記入させる。 <p>◆ 「近年、日本のGDP(国内総生産)は伸び悩んでいる。このことを踏まえて、『日本の経済成長のことを考えると、今はアフリカへの支援・アフリカとの貿易は中国に任せるべきだ。』という意見に対して、賛成か反対か、自分の考えを説明しよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本のGDP(※一人当たりのGDPも)を示し、経済成長が低迷していることを確認する。 ・ 獲得した「普遍的理論」と資料を活用して考えさせる。 ・ 全体で考えを交流する。 <p>☆ 資料③-1「主な国の人口推移と予測」</p> <p>☆ 資料③-2「国土の利用割合」</p> <p>☆ 資料③-3「主な資源の日本の自給率と輸入相手国」</p> <p>☆ 資料③-4「日本の輸出入品目の推移」</p>	<p>【思考・判断・表現】 先進国と途上国のそれぞれの立場から、多面的・多角的に考察し、表現している。 (ワークシート、発言)</p> <p>【知識・技能】 これからの経済発展については、各国が自国優先ではない世界全体の視野と、目先の利益ではない将来の視点を入れた経済発展観に立つことが必要であることを理解している。 (ワークシート、発言)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を通じた学習を振り返りながら、よりよい社会の実現を視野に課題を追求し、社会に関わろうという態度を示している。 (ワークシート、発言)</p>
---	--	--

まとめ	6 本時と単元全体の学習内容を振り返る。	・ 本時とともに、「経済発展」をテーマとした単元全体を振り返らせる。	
-----	----------------------	------------------------------------	--

(3) 板書計画

【問題】 現在、経済的に貧しい国々がこれから発展するためには、どのような道筋があるのだろうか。						
ホワイト ボード						
<p>【?】 なぜ、先進国は途上国の経済発展を支援するのだろうか。</p> <p>→ 途上国は巨大な市場と労働力があり、自国の経済成長にとって必要だから ⇨</p> <p>→ 途上国で生産されるものが自国の生活にとって必要だから</p> <div style="float: right; text-align: left; margin-top: -20px;"> 途上国は、 ・モノカルチャー経済から抜け出せない ・鉱産資源が枯渇する </div> <p>【?】 全世界で経済発展が進むことによって、地球全体はどのように変わっていくのだろうか。</p> <p>→ 環境破壊が進む（※被害を最初に受けるのは途上国の人）</p> <p>→ 地球の資源はいつか無くなる ⇨ 私たちの生活はどうなる？</p> <p>☆【?】 <u>これからの「経済発展」はどのようにあるべきなのだろうか。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【普遍的理論】 : </div>						